

# 更なる「安全」を胸に。

信じてきたものが

崩れた時、わが道を

見失いかけてました。

入社して最初に配属されたのが福島第一原子力発電所でした。7年後、生まれ育った柏崎に転勤になりました。これまでずっと保全部門で、電気設備の工事監理や点検などを担当しています。

東日本大震災が発生し、福島第一が事故を起こした時は、応援のためすぐ現地に入りました。事故の現場を目の当たりにして非常に大きな衝撃を受けました。「原子力発電所はいくつもの壁で守られているから絶対に安心だ」。信じてきたものが目の前で崩れている。この現実には、自身、道を見失いかけてました。果たして私は何をすべきなのか、何ができるのか、と。こちらに戻ってきてからも迷い続けていた私に、先輩が「いい空気が吸えるぞ」と山登りに誘ってくれました。何も考えずに空を見ていたら、我に戻りました。



柏崎刈羽原子力発電所  
第一保全部電気機器1・4号グループ兼  
2・3号グループ兼  
第二保全部電気機器グループ

田中 和夫

昭和59年入社  
新潟県柏崎市出身

**決して、妥協はしない。  
一つひとつその全てが  
安全につながっている。**

現在、私が担当しているのは、プラントに電源が供給されなくなった時に備えて新しく配備したガスタービン発電機車の操作です。時折、福島第一の現場で見た仲間たちの姿が頭に浮かびます。持ち場は違えど、一人ひとりが全力で立ち向かっていた姿。その姿を思い出すたび、訓練に力が入ります。

私のいる保全部門は、発電所の中では目立たず支える仕事。「現場第一線のこの仕事を誇りをもってやれ」。

そう先輩に言われてきましたが、これまで業務を完了するだけで、仕事を終わらせていたところがあつたかもしれません。しかし、今は「決して妥協してはいけない」と一つひとつを振り返り、もっと安全のためにできることがあるのではないかと、自問自答しながら仕事をするようになりました。安全という大きな責務に、目の前のこと全てがつながっているという意識、「もっと」という思いが私を変え、責任感を強くしている、自信を持つて言えるのです。

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、ホームページでも紹介しています。

TEPCO 新潟本社



<http://www.tepcoco.jp/niigata/index-j.html>



お問い合わせ  
東京電力ホールディングス 新潟本社  
025-283-7461  
9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

**TEPCO**